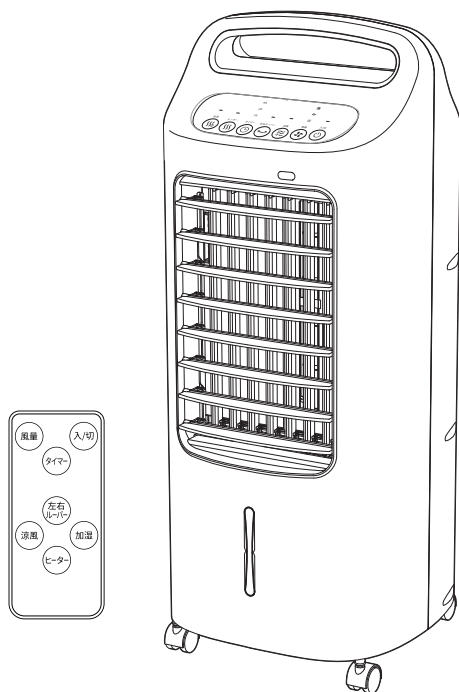


加湿機能付き
温冷風扇

型番 QS517



家庭用

日本国内専用 FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは本製品をお買い上げいただき
ありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるように大切に
保管してください。

もくじ

■ご使用の前に

安全上のご注意	1～3
各部の名称	4
付属品	4
別売品	5
リモコンについて	5
安全装置について	6
キャスターを取り付ける	7
設置について	7
水タンクに水を入れる	8
水がなくなると	8
保冷剤や氷を使う	9

■使いかた

運転する(送風モード)	10
停止する	10
風量を切り替える	10
涼風モードに切り替える	11
温風モードに切り替える	11
加湿モードに切り替える	12
風の向きを変える	12
オフタイマーを設定する	13
本体を移動する	13

■お手入れ・保管

お手入れ	14～15
保管のしかた	15

■困ったときは

故障かな?と思ったら	16
仕様	17
アフターサービス	18
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前に必ずよくお読みのうえ、正しく使用してください。
人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■図記号の説明（具体的な内容は図記号の中や文章で示します）



必ず行うことを
示す記号です。



してはいけないこと
を示す記号です。



注意することを
示す記号です。



警告

誤った取扱いをすると、
死亡または重傷を負うおそれがある内容です。

電源プラグ・電源コードについて



電源プラグは根元まで確実に差し込む
ショートによる火災や感電の原因になります。



コンセントへの差し込みがゆるいときは
使用しない
火災・感電・やけどの原因になります。



家庭用100V電源（容量15A-1500W）を
単独で使用する
異なる電圧での使用は、火災・発熱・故障
の原因になります。



延長コードやテーブルタップを使用しない
コンセントや電源コード、電源プラグが異
常発熱し、発火するおそれがあります。



・電源コードや電源プラグを乱暴に扱わない
・重いものをのせたり、挟み込んだりしない
・損傷したものは使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けが・やけどの原因になります。



必ず運転を停止して電源プラグをコンセ
ントから抜いてから、キャスターの取り付
け・タンクの出し入れ・お手入れをする
感電・やけど・けがの原因になります。



電源プラグのホコリや汚れは拭き取る
湿気などで絶縁不良となり、ショート・感
電・火災の原因になります。



電源コードを束ねたまま使用しない
過熱による火災の原因になります。



電源コードを引っ張って本体を移動させ
たり、持ち上げたりしない
電源コードが破損し、火災や感電の原因
になります。

設置・使用について



次のような場所では使用・保管しない
・屋外や水回り、浴室、加湿器の近くなど
湿気が多い場所・水のかかる場所
・ホコリや粉じんが多い場所
・スプレー缶や引火性のもの、火気、暖房
器具の近く・高温になる場所
・直射日光の当たる場所
・電源をとるコンセントのすぐ下
火災・感電・故障の原因になります。



本体・吹出口・吸気口を覆ったり、ふさい
だまま使用しない
過熱・火災・故障の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に
向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散などが起き、一酸
化炭素中毒や火災の原因になります。



本体のすき間・開口部・吹出口・吸気口にピン
や針金などの異物、指などを入れない
感電・やけど・けがの原因になります。

電池について



子どもの手の届くところに置かない
誤飲の原因になります。万一飲み込んだ
ときは、すぐに医師にご相談ください。



充電・分解しない、ショートさせない
火災・感電・破裂の原因になります。



警告

誤った取扱いをすると、
死亡または重傷を負うおそれがある内容です。

異常や故障のときは、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・発煙のおそれがあります。

《異常の例》

- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・電源コード、電源プラグが異常に熱い。
 - ・運転中に異常な音やニオイがする。
- 異常があると思われる場合はお買い上げの販売店またはクワズカスターサポートまでご相談ください。



包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に保管する
誤ってかぶったり、首に巻き付いたりすると、窒息による死亡の原因になります。



分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店またはクワズカスターサポートまでご相談ください。



注意

誤った取扱いをすると、けがをしたり
財産の損害が発生するおそれがある内容です。

電源プラグ・電源コードについて



電源コードをコンセントから抜くときはコードを引っ張らず、プラグを持って抜く
電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



使用時以外、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

設置・使用について



- ・業務用として使用しない
- ・運転中に電源プラグを抜かない
負担がかかり、故障の原因になります。



- ・子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、ペットの近くで使用しない
- ・乳幼児やペットが触れる場所に保管しない
感電やけがの原因になります。



- ・落下させたり、強い衝撃を与えない
本体の故障による火災・感電の原因になります。



- ・風を長時間、直接身体に当てない
健康を害するおそれがあります。



- ・テレビ・パソコン・オーディオ機器などの近くで使用しない
雑音が入ることがあります。



- ・薬品などの周囲で使用しない
本体が劣化し、破損するおそれがあります。



設置位置は周囲の環境をよく確認し、水濡れに注意して使用する
過加湿、水濡れによる電子機器や家財、家屋などの故障・損傷は補償の対象外となります。あらかじめご了承ください。



- ・製品の上に物を置いたり、乗ったり、体重をかけたりしない
- ・吹出口・吸気口・可動部に指や物を入れたり、頭髮や衣類を近づけたりしない
けがや故障の原因になります。



- ・本体を移動するときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、水タンクの水を捨ててから行う
- ・障害物がなく、水平で安定した場所で使用する
けがや故障の原因になります。



- ・手動でルーバー（左右）の角度を変えない
故障の原因になります。必ず左右ルーバーボタンで操作をしてください。



- 必ず常温の水道水（飲用）を使用する
- ・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・浄水器の水・井戸水などは雑菌が繁殖しやすくなり、健康を害する原因になります。
- ・40℃以上のお湯やアロマウォーター・アロマオイル・化学薬品の入った水などは、本体の変形や故障の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると、けがをしたり財産の損害が発生するおそれがある内容です。

設置・使用について



凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を捨てる
故障・破損の原因になります。



・本体内の水が凍っている場合は使用しない
故障の原因になります。



運転したまま放置しない
火災の原因になります。



定期的にお手入れをする
「お手入れ・保管」のお手入れに従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。



金属製のネックレスなどを身につけてる場合は十分に注意する
温風で熱せられて、やけどをする恐れがあります。



水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替え、水タンクを使用しないときは水を捨てる
水を入れ替えずに使用すると、カビや雑菌が繁殖して、異臭や健康を害する原因になります。



身体と同じ箇所を長時間温め続けない
低温やけどの原因になります。



吸気フィルターを外した状態で使用しない
水もれや、ホコリを吸い込み故障の原因になります。



乳幼児に使用しない
やけどの原因になります。



ペット用に使用しない
ペットが電源コードを傷つけたりすると、故障や火災の原因になります。



保冷剤のフタを開けない

誤って開けてしまい、保冷剤の中身が皮膚についた・飲み込んだ・目に入った場合は、以下の処置を行ってください。

- ・皮膚についた場合は、すぐに石鹸と水でよく洗ってください。
- ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。

電池について



- ・指定以外の電池を使わない
 - ・+と-を逆にして使わない
 - ・火の中に入れたり、加熱したりしない
 - ・水につけたり、濡らしたりしない
 - ・金属製のものと一緒に携帯・保管しない
 - ・高温になる場所に放置しない
- 火災・感電・破裂の原因になります。



電池を素手で取り扱わない
電極(+/-)を素手で同時に触ると、消耗を早める原因になります。
また汗や油分などが付着すると、接触不良の原因になります。



濡れた手で電池を取り扱わない
感電の原因になります。



長期間使用しないときは電池を取り出す
液漏れによる火災やけが、周囲の汚損の原因になります。



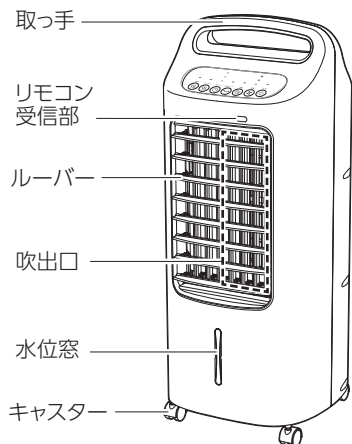
液漏れしたときは素手で液に触れない
万一触れたときは水でよく洗い流し、医師にご相談ください。



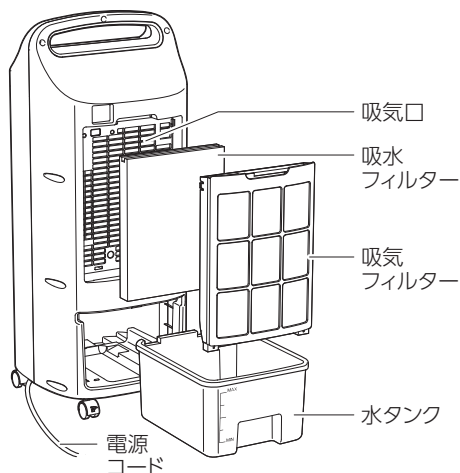
電池を廃棄する際は、お住まいの地域の指示に従ってください

各部の名称

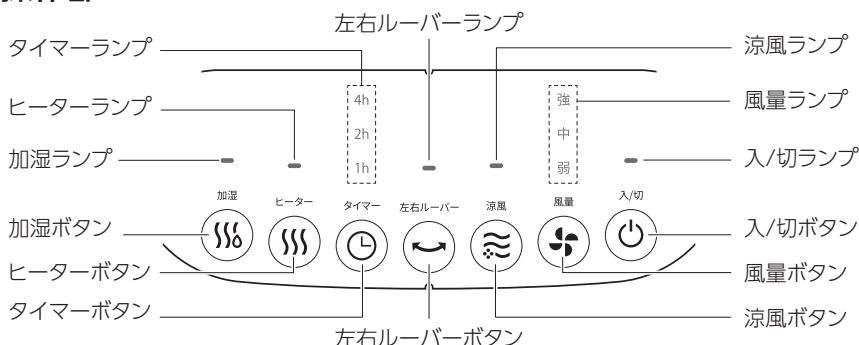
■正面



■背面

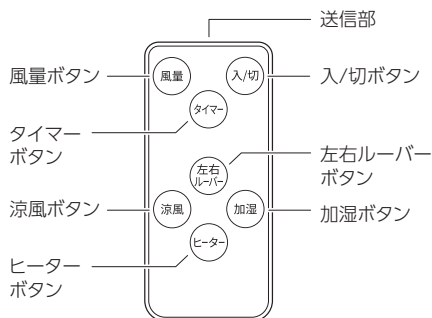


■操作部



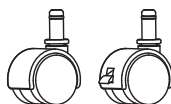
付属品

■リモコン(テスト電池内蔵)



■キャスター×4

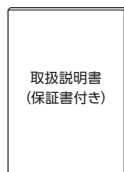
ストッパー付き×2
ストッパーなし×2



■保冷剤



■取扱説明書(本書)



ご使用の前に

使いかた

お手入れ・保管

困ったときは

別売品

クワッズオンラインストアにて別売品をご注文いただけます。



<https://quads-official.stores.jp/>

QUADS オンラインストア

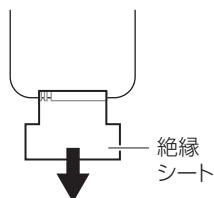
部品名	部品型番
QS517 リモコン	QS517-RC
QS517 保冷剤	QS517-IP
QS517 吸水フィルター	QS517-FT

リモコンについて

1 電池の絶縁シートを引き抜きます。

※製品に内蔵している電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

《リモコン》



2 リモコンの送信部を本体の「リモコン受信部」に向けてボタンを押します。

※操作範囲は約5mです。

■電池交換

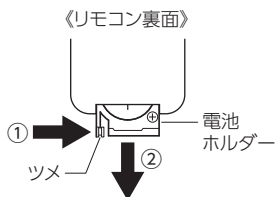


注意

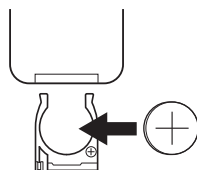
電池を誤って取り扱うと、破裂・液漏れ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「電池について (P.1、P.3)」をよく読んで使用してください。

使用する電池はリチウム電池「CR2025」1個です。

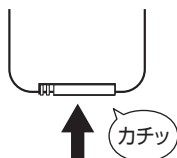
1 ①ツメを矢印方向に押しながら、②電池ホルダーを引き抜きます。



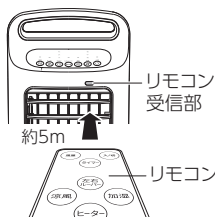
2 新しい電池の【+】を上にして、電池ホルダーにセットします。



3 電池ホルダーをリモコン本体に差し込みます。



操作範囲



リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。

操作距離は直線で約5mです。

安全装置について

■転倒時自動オフスイッチ

運転中に本体が転倒したり、傾いたりすると、自動で運転を停止します。引き続き使用する場合は本体を水平な場所に設置し、『入/切』ボタンを押して運転を再開してください。

■サーモスタット

運転中に本体が過熱するとサーモスタットが作動し、自動で運転を停止します。引き続き使用する場合は本体が冷めたのを確認し、『入/切』ボタンを押して運転を再開してください。

■温度ヒューズ

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断することがあります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。クワッツカスタマーサポートまでご連絡ください。

■消し忘れ防止機能

消し忘れ防止のため、12時間後に自動で運転を停止します。

※オフタイマー設定中は、消し忘れ防止機能は動きません。

キャスターを取り付ける

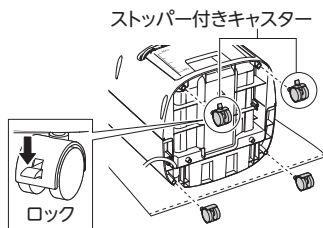
※必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

※必ずキャスターを取り付けて使用してください。

※ストッパー付きキャスターは、ロックした状態で取り付けてください。

1 タオルなどの柔らかいものを敷き、その上に本体を横倒しにして置きます。
本体を直接置くと、床に傷が付く原因になります。

2 本体底面の四隅の取り付け穴に、付属のキャスターを押し込みます。



※キャスターが外れないように、取り付け穴の奥までしっかりと押し込んでください。

※キャスターは、ストッパー付きとストッパー無しが2個ずつ付属しています。

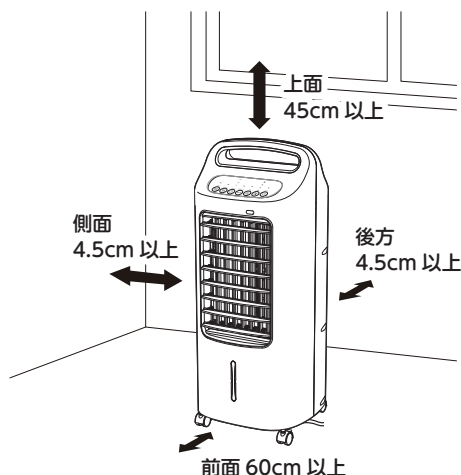
本体背面側にストッパー付きのキャスターを取り付けてください。

※キャスターは、まっすぐに差し込んでください。
斜めに差し込むと、入らない場合があります。

設置について

障害物がなく、水平な床に設置してください。

※ご使用前に、本体正面に貼り付けてあるPOPシールをはがしてください。



水タンクに水を入れる

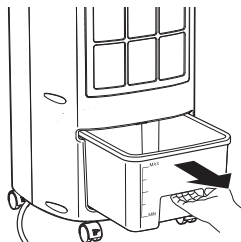
涼風モード・加湿モードで運転をするときは必ず水タンクに水を入れてください。

※必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

※必ず常温の水道水（飲用）を使用してください。

※水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替え、水タンクを使用しないときは水を捨ててください。

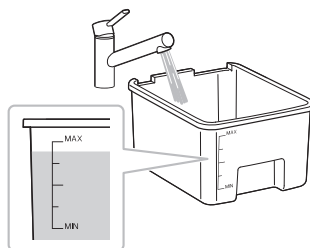
1 水タンクを手前に引き、本体から取り出します。



2 水タンクに水を入れます。

※水の量は水位表示の「MIN」と「MAX」の範囲内にしてください。

- ・水が「MIN」の位置以上に入っていないと、涼風モードまたは加湿モードで水を吸い上げることができません。水位が「MIN」の位置まで下がったら、水を補給してください。
- ・水を「MAX」の位置以上に入れると、水もれや故障の原因となります。

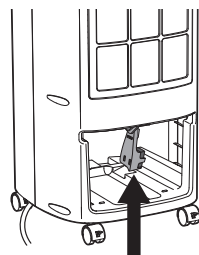


3 水タンクを本体に取り付けます。

※水がこぼれないように、ゆっくり取り付けてください。

※本体の水タンク収納部分に吸水ポンプがあります。

取り付ける際に、水タンクで押すと持ち上がる仕様となっております。強めに押して奥までしっかりと押し込んでください。



吸水ポンプ

水がなくなると

水が入ってない状態で、涼風モードや加湿モードにすると「カチカチ」や「カラカラ」と音が鳴ります。異常や故障ではありません。涼風モードや加湿モードを停止するか、水を補給してください。

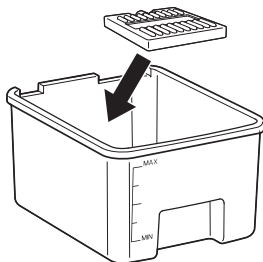
保冷剤や氷を使う

涼風モードでさらに冷たい風を出したい場合は、付属の保冷剤または氷を水タンクの中に入れてください。

※必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

1 保冷剤を冷凍庫で凍らせます。

2 水タンクの「左側」に保冷剤または氷を入れ、水を入れます。



※水タンクに水を入れてから保冷剤を入れると、水があふれるおそれがあります。

水タンクの右側に保冷剤を入れると、正常に水が吸えなくなるおそれがあります。

保冷剤の効果がなくなったら、冷凍庫で再度凍らせてください。



注意

- 保冷剤のふたを開けないでください。誤って開けてしまい、保冷剤の中身が皮膚についた/飲み込んだ/目に入った場合は、下記の処置を行ってください。
 - ・皮膚についた場合は、すぐに石鹸と水でよく洗ってください。
 - ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
 - ・目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 保冷剤を使用して涼風モードで運転をすると、水タンクが結露し、水滴が床に落ちることがあるので注意してください。

運転する(送風モード)

涼風モード・加湿モードで運転をするときは必ず水タンクに水を入れてください。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴ります。

本体の『入/切』ランプが点灯し、
送風モード「弱」で運転を開始します。

停止する

《本体》



《リモコン》



運転中に本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴ります。

本体の『入/切』ランプが消灯し、
運転が停止します。

※次回ご使用時は、停止したときの設定したモードで
運転を開始します。
(電源プラグを抜くとリセットされます。)

風量を切り替える

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴ります。

風量に応じて、本体の風量ランプ「弱」「中」「強」が
点灯します。

『風量』ボタンを押すたびに、風量が1段階ずつ
強くなります。風量が「強」のときに『風量』ボタンを
押すと、風量は「弱」に戻ります。

涼風モードに切り替える

※加湿・涼風モードの運転中に吸気フィルター(吸水フィルター)を取り外さないでください。
水が漏れる原因となります。

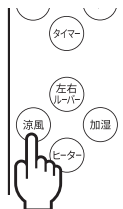
1 水タンクの「MIN」の位置以上に水が入っていることを確認します。

2

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『涼風』ボタンを押します。
本体の『涼風』ランプが点灯し、涼風モードに切り替わります。

解除する場合は、再度『涼風』ボタンを押します。

温風モードに切り替える

※温風モードの運転時・運転停止直後はルーバーや吹出口など熱くなっている部分に触らないでください。やけどのおそれがあります。

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。
本体の『ヒーター』ランプが点灯し、温風モードに切り替わります。

※温風モードの状態では、風量ボタンを押すと、「弱」「中」「強」で風量が切り替わります。

※温風モードから送風モードに切り替えたとき、しばらく温風が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。
風が冷えるまで60秒ほどお待ちください。

加湿モードに切り替える

※加湿・涼風モードの運転中に吸気フィルター(吸水フィルター)を取り外さないでください。
水が漏れる原因となります。

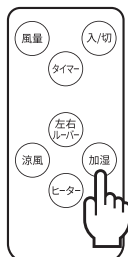
1 水タンクの「MIN」の位置以上に水が入っていることを確認します。

2

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『加湿』ボタンを押します。
本体の『加湿』ランプと『ヒーター』ランプが点灯し、加湿モードで運転を開始します。

解除する場合は、再度『加湿』ボタンを押します。

※加湿モードの状態では、風量ボタンを押すと、「弱」「中」「強」で風量が切り替わります。

風の向きを変える

左右の向きを変える

《本体》

左右ルーバー



《リモコン》

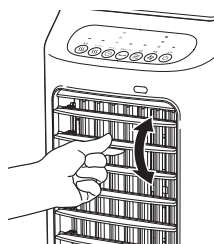


運転中に本体またはリモコンの『左右ルーバー』ボタンを押します。

『左右ルーバー』ランプが点灯し、スイング運転を開始します。

解除する場合は、再度『左右ルーバー』ボタンを押します。

上下の向きを変える



運転停止中に本体のルーバーを手で上下に動かします。

ルーバーを1つ動かすと、すべてのルーバーの上下の向きが変わります。

※使用中、使用直後は、ルーバーに触れないでください。

ご使用の前に

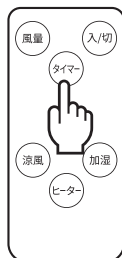
使いかた

お手入れ・保管

困ったときは

オフタイマーを設定する

《リモコン》

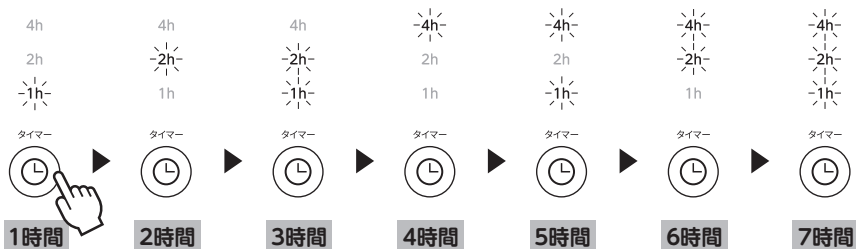


電源オンの状態で、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴り、『タイマー』ランプが点灯します。
『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わります。
1～7時間の範囲で1時間ごとに設定ができます。

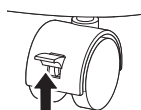
解除する場合は『タイマー』ランプが消灯するまで『タイマー』ボタンを押します。

《本体》

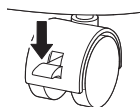


本体を移動する

- ※必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから移動を行ってください。
- ※水タンクの水を捨ててから移動を行ってください。水漏れ、やけどの危険があります。



ロック解除



ロック

ストッパー付きキャスターのロックを解除し、
取っ手部分をしっかりと持って移動させてください。

お手入れ

ホコリなどが付いたまま使用を続けると、モーターの過熱や異常音などの原因になります。汚れの状態を見て、定期的にお手入れをしてください。



警告

- 必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてからお手入れをする
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電・故障の原因になります。



注意

お手入れには台所用中性洗剤を使用する
塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。

■本体・リモコン・吹出口のお手入れ

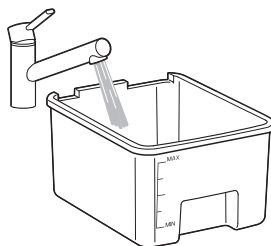
柔らかい乾いた布、または掃除機でホコリや汚れを取り除きます。

※汚れがひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を浸して固くしぼった布で
汚れを拭き取り、最後に乾拭きをします。

■水タンクのお手入れ

水を入れて軽く振り洗い、またはスポンジなどでこすり洗いをしてから水を捨ててください。

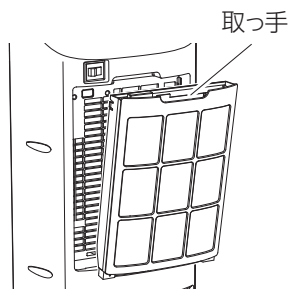
※汚れがひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用
してください。



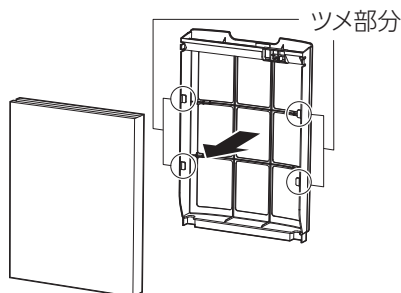
■吸気フィルターのお手入れ

取っ手部分を持って手前に引き、取り外します。

※運転停止後に約1分待ってから取りはずしてく
ださい。フィルターに含まれた水がこぼれて床
を濡らす原因になります。



2 吸気フィルターのツメ部分を横に広げ
ながら、吸水フィルターを取り出します。



ご使用の前に

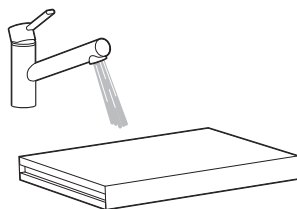
使いかた

お手入れ・保管

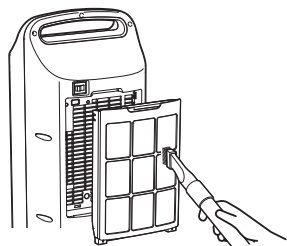
困ったときは

3 吸水フィルターを水洗いして、よく乾燥させます。

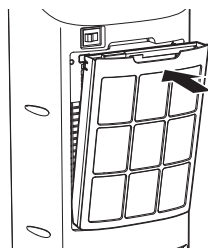
※お手入れしてもにおいや汚れが取れない、傷みがひどい場合は、吸水フィルターを新しいものに交換してください。(→P.5「別売品」)



4 吸気フィルターと吸気口に付着したほこりを、掃除機で吸い取ります。



5 ①吸気フィルターに吸水フィルターを取り付け、 ②吸気フィルターの下部を本体の取付穴に差し込み、吸気フィルター上部を押して取りつめます。



保管のしかた

お手入れのあとは、水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
(※湿ったまま保管するとカビの発生・異臭・故障の原因になります。)

お買い上げ時の箱に入れるかポリ袋で包み、直射日光や湿気を避けて保管してください。

※リモコンは電池を取り外してから保管してください。

故障かな?と思ったら

お問い合わせや修理をご依頼の前に、下記項目をご確認ください。

こんなとき	もしかしたら	対処方法
運転しない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	「入/切ボタン」を押してください。
運転が停止した	オフタイマーが働いて停止した。	引き続き使用する場合は、 「入/切ボタン」を押してください。
涼風モードで 運転しているが、 風が涼しくない	本製品はエアコンとは構造が異なるため、部屋全体を冷やすことはできません。 通気の良い場所で使用したり、エアコンと併用してください。	
	水タンクの水が不足している。	水タンクに水を入れてください。
風が弱い	吸水フィルターに 水が行き渡っていない。	吸水フィルターが完全に乾燥している場合、 フィルター全体に水が行き渡るまで時間が かかります。10分ほどお待ちください。
	吸気フィルターにホコリが たまっている。	吸気フィルターのお手入れをしてください。 (→P.14～15「お手入れ」)
温風が出ない	吸気口や吸気フィルター、吹出 口が汚れている。	吸気口や吸気フィルター、吹出口のお手入 れをしてください。(→P.14～15「お手入れ」)
電源を切っても 停止しない	運転停止直後のため。	運転停止直後はヒーターの冷却のため約30秒 送風が続きます。故障ではありません。
リモコンで 動作しない	電池の向き(+/-)が間違っている。	電池を正しい向きに入れ直してください。
	本体にリモコンを向けていない。 またはリモコンと本体の間に 障害物がある。	障害物を取り除き、リモコンを本体に向けて 使用してください。誤作動などが発生する場 合は本体の設置場所を変更してください。
	本体とリモコンの距離が 離れている。	操作範囲は約5mです。 操作範囲内で使用してください。
	リモコンの送信部が汚れている。	リモコンの送信部のお手入れをしてください。
運転音が大さい	不安定な場所に置いている。	水平で安定した場所に置いてください。
「カチカチ」「カラ カラ」と音が鳴る	水タンクの水が不足している。	水タンクに水を入れてください。
水がもれる	水タンクが正しく取り付けられ ていない。	水タンクを奥までしっかりと取り付けてく ださい。

※上記の対処方法を行っても異常がある場合は、クワズカスタマーサポートまでご連絡ください。

ご使用の前に

使いかた

お手入れ・保管

困ったときは

長年ご使用の製品は必ず点検を行なってください

このような
症状は
ありませんか？

- 電源を入れても羽根が回らない
- 羽根の回転が異常に遅い・不規則
- 回転の際に異常な音や振動がする
- モーター部が異常に熱い
- 焦げ臭いにおいがする
- 電源コードや電源プラグが折れ曲がったり破損している・異常に熱い
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- その他の異常や故障がある

➡ 事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはクワッツカスタマーサポートまでご連絡ください。

仕様

本体サイズ／重量	幅30.5×奥行30×高さ76cm／約5.9kg
材質	ABS、PP
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	温風モード：1200W／涼風モード 強：40W
風量設定	3段階切替(強／中／弱)
運転モード	涼風モード／温風モード／送風モード／加湿モード
スイング	上下ルーバー(手動)、左右ルーバー(自動)
加湿方式	気化式
オフタイマー	1～7時間(1時間単位)
水タンク容量	約5.5L
最大加湿量	約250ml/h
連続運転時間	約20時間
コード長	約1.5m
1時間あたりの電気代	温風モード：約37.2円 ※31円/1kWhで算出
消し忘れ防止機能	12時間
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ

※仕様・外観・付属品などは改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービス

■保証期間はご購入日より1年間です

保証期間中に修理・交換を依頼する場合は、製品と保証書をお買い上げ店にご持参、ご提示のうえご相談ください。保証書に記載されている保証規定に基づき修理または交換のご案内をいたします。

■保証期間経過後の修理・交換

クワッズカスタマーサポートまでご連絡ください。お客様のご要望により有料で修理・交換のご案内をいたします。(※送料はお客様負担です)

■クワッズカスタマーサポート

お電話での
お問い合わせ

0570-00-8897

10:00~12:00、13:00~16:00(土日祝、弊社休業日を除く)

※通話料はお客様負担です。

※時間帯により電話がつながりにくい場合があります。あらかじめご了承ください。

メールでの
お問い合わせ

support@quads.co.jp

※電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。

LINEでの
お問い合わせ



●「故障かな?と思ったら(P.16)」をご確認のうえ、お問い合わせください

●お問い合わせの際は ①型番 ②製品名 ③ご購入日 ④ご購入店名 ⑤お問い合わせ内容 をご確認ください。

ご使用の前に

使いかた

お手入れ・保管

困ったときは